

下落合氷川神社 東京都新宿区下落合 2-7-12

当神社の御創立は第五代孝昭天皇の御代（今より二千四百年前）ともさらに上古ともいわれ、明らかではありませんが、螢の名所として有名だった落合の郷、神田川の守り神として古くから信仰されてきました。「江戸名所図会」「江戸紀聞」「江戸砂子」等によれば、非常に広い境内を有し、その一角から湧き出る泉からは神様の姿をした砂が噴き出たと伝えられています。江戸時代には旧下落合村の鎮守でそこには素戔鳴命(スサノオノミコト)、奇稲田姫命(クシナダヒメノミコト)、大己貴命(オオナムチノミコト)の神様が祀られています。境内社の合殿には三峰社(伊弉諾神・伊弉冉神)、天祖社(天照大御神)、稲荷社(宇迦之御魂神・佐田彦神・大宮能売神)、諏訪社(建御名方神・八坂刀売神)、浅間社(木花咲耶姫神)、と計五つの神社が合祀されている。(境内案内板)



案内板



新目白通りに面して大鳥居がある



水盤



本殿正面



狛犬は1865(慶應元)年造 尻尾を上げている



拝殿には干支が置いてある



扁額